

<p>I 目指す学校</p> <p>「人権を尊重した教育のもと、生徒一人一人のライフステージを見通し、自立と社会参加に必要な確かな学びを実現する学校」</p> <p>1 生徒一人一人が生き生きと通い、自分の成長を実感できる学校 2 保護者、地域、関係機関と協働し、特別支援教育推進の核となる学校 3 研修・研究を重ね、専門性の向上と学習活動の充実・改善に取り組み続ける学校</p>	<p>II 教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力を充実させ、自ら学び、考え、主体的に表現する力を育成する。 ・互いを尊重し合う思いやりの心と規範意識を育成する。 ・社会生活に必要な体力、技能、態度、習慣を育成する。 ・社会の一員として自ら行動し、社会に貢献できる力を育成する。 	<p>III 校訓</p> <p style="text-align: center;">「誠心誠意」</p> <p>生徒や教職員が何事にも誠実に責任をもって取り組み、保護者や都民に信頼される学校を目指す。</p>
---	--	---

社会人になる準備の3年間を過ごす学校として

IV 中期目標と方策		V 今年度の取組目標と方策		
		1 教育活動の目標と方策	2 数値目標 (◎重点)	
A	1 人権を尊重した教育の充実	①生徒の人権に配慮した指導の徹底	ア 適切な援助希求行動の育成 (SOSの発信) イ 人格を尊重した「さん」呼びの推奨 ウ 自己肯定感、自尊感情や互いを思いやる気持ちの育成 エ 乱暴な態度や言葉、追い込む指導等の禁止	◎適宜 (全教育活動) ◎適宜 (全教育活動) ◎適宜 (全教育活動) 不適切な指導ゼロ
		②体罰・いじめの早期発見の推進と防止の徹底	ア 体罰を生まない職場風土醸成のための研修の実施 イ いじめ早期発見の徹底 (チェックリストの実施)	年間3回以上 各学期1回
	2 根拠に基づく授業改善と教員の専門性向上	①アセスメント、外部専門家の活用による授業改善	ア 専門家 (障害当事者・OT・PT等) による授業観察及び評価 イ 外部専門家を積極的に活用した授業改善の推進	年間15回以上 ◎各教科・教科1回以上
		②主体的、対話的で深い学びを実現するための授業改善の推進	ア 授業者支援方式による研究授業の実施 イ 授業に関する生徒評価の満足度の向上	年間15回以上 ◎肯定的評価90%以上
	3 自立の礎となる生活指導の充実	①ルールを守る安全・安心な学校生活の実現	ア 校訓 (誠心誠意) と「あ (挨拶) ・じ (時間) ・み (身だしなみ)」の指導 イ 生徒ハンドブックを活用した指導 (生活のきまり) ウ 生活指導だよりの発行	毎月1回以上 (学年集会等) 毎月1回以上 (学年集会等) 年間3回以上
		②安全・安心な通学環境の整備	ア スクールバスの安全な運行と車内事故の防止 イ スクールバス連絡会、乗務員研修会の実施	年間車内事故ゼロ 年間3回以上
	4 オリピック・パラリンピック教育の推進	① 学校2020レガシー (※) の構築に向けた取組の推進	ア 初級・中級・上級教育の理念を継承した指導を実施 イ アダプテッド・スポーツ (※) を取り入れた体育活動の充実 ウ 芸術・文化活動の推進 エ 国際交流の実施	全教科で実施 体験3種目以上 3展覧会以上出展 各教科隔年で1回以上
	5 読書活動の充実	①生徒が図書に親しむ環境づくりと学校図書活用の推進	ア 読書活動の推進	校内POPコンテスト実施。
	6 主体性を育む防災教育の推進	①現実的な防災・避難訓練の実施と体制整備	ア 現実度の高い避難訓練の実施 イ 伝言ダイヤルを活用した緊急時連絡訓練の実施 ウ 教員の救命技能認定取得の奨励	現実度の高い訓練3回以上 年間2回 教員の取得率100%
②地域と連携した大規模災害対策の検討		ア 地域と連携した総合防災訓練の実施	年間1回以上	
7 安心・安全な環境整備	①未然の事故防止意識の高揚	ア 学習環境の安全点検の実施 (コーナークッション設置等) イ 学習指導案に事故防止策の記載	年間2回 研究授業時に必須	
8 芸術教育推進事業	① オンライン学習を含めた授業の充実	ア 活動内容の充実	生徒の授業満足度90%以上	
9 ICT教育の推進	①オンライン学習のための環境整備	ア デジタル教材の開発	◎各教科1点以上	
B	1 自立と社会参加を目指す進路指導・職業教育の充実	①各種検定を活用した学習意欲の向上	ア 日本語ワープロ検定等の受検推進 イ 各種技能検定 (清掃、喫茶接客、流通等) を活用した意欲向上	検定参加者延40名以上 検定参加者延20名以上
		②作業学習・職業に関する専門教科の指導の充実	ア 普通科各作業班の作業内容の充実【普】 イ 作業製品販路の充実【普】 ウ 家政・流通の活動内容の充実【職】 エ 商品の開発・研究と外部販売の充実【職】	作業学習生徒満足度90%以上 年間売上20万円以上 専門教科生徒満足度90%以上 年間売上100万円以上
		③「外部専門家を活用した指導の充実	ア 外部専門家による作業内容、方法の指導・助言	年間延100時間以上
		④個々の実態に応じた進路指導の充実	ア 適性に応じた適切な進路指導の実施 イ 個別移行支援計画を活用した就労支援機関等との連携	◎企業就労希望者100% 100%
	2 地域と連携した教育活動の充実	①主権者教育、消費者教育の充実	ア 足立区選挙管理委員会と連携した生徒会選挙の実施 イ 関係機関との連携も視野に入れた消費者教育の実施	各教科年1回実施 各教科1回以上
		②関係機関と連携した支援会議の充実	ア ニーズに応じた適時迅速な支援会議の実施 イ 外部専門家 (SSW) を活用したより効果的な支援策の検討	年間随時 年間10回以上
		③地域における社会貢献活動・交流活動の推進	ア 地域関係機関等における環境整備活動 (清掃等) の実施 イ 地域自治会を招いての交流活動の実施	年間10回以上 年間1回以上
		④共生社会の実現に向けた理解啓発活動の推進	ア 文教大学等でのパン販売実施 イ 都立版エリアネットワークの充実	月1回以上 ◎年間20回以上
	3 積極的な発信・広報	① インターネットを活用した積極的な情報発信	ア 担当する授業の紹介 イ ホームページの積極的活用による発信の更なる強化 ウ X (旧Twitter) を活用した迅速な情報提供 エ Teamsを活用できる環境整備推進	◎一人1回以上 ◎更新年間180回以上 ◎発信年間300回以上 100%アカウント配布
			ア 足立区を中心とした中学校への理解推進の徹底 イ 職能開発科説明会の充実 ウ 出前授業・体験授業の実施	足立区内全中学校訪問 参加者300名以上 ◎年間3回以上
		② 職能開発科理解推進の充実	ア プロジェクトチームの立ち上げ	◎月1回以上
		③ 創立50周年記念式典に向けた企画・立案	ア 授業参観・研修会への参加	◎各1回以上
C	1 部活動・特別活動の充実	①部活動の充実	ア 運動系、文化系部活動の活動促進 イ 近隣特別支援学校等との交流、合同練習等の実施	加入率40%以上 年間3回以上
		②生徒会交流活動の充実	ア 近隣交流校 (淵江高校) との交流活動の実施	年間2回以上
	2 健康づくりと体力の向上	①健康の基盤となる食育の推進	ア 食育だよりの発行 イ 食物アレルギーとエビソンの使用に関する研修の実施 ウ 緊急時対応訓練の実施 エ 食育相談の実施 (外部ボランティアの活用含む) オ 食育講話の実施 (外部ボランティアの活用含む) カ 適正なBMI (ボディ・マス指数) の推進	年間4回以上 年間1回以上 年間1回以上 年間10回以上 年間1回、参加15名以上 通信3回以上
			ア 歯科衛生士と連携した歯科保健指導の実施 イ 臨床心理士と連携した生徒相談の実施	年間3回以上 年間150回以上
		③医療的ケアに関する理解の推進	ア 医療的ケアに関する研修の実施	年間1回
		① 保護者との連携の工夫・充実	ア 学校評価アンケート (保護者) の回収率の向上	回収率80%以上
	ア 授業参観週間の実施 イ 保護者向け進路説明会の充実 ウ 自治体、地域住民が参加できる避難訓練		参観者数延50名以上 年間3回以上、満足度80%以上 年間1回以上	
	4 ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた職場環境の整備	①教職員各自の「働き方改革」の推進	ア 教職員の超過勤務時間の適切な把握による自己管理意識の醸成	◎毎月超過時間45時間以内85%
		②積極的な業務改善と働きやすい職場風土づくり	ア 「マイ・プラスワン行動」の推進 イ ハラスメントや服務事故の無い、明るく働きやすい職場環境づくり	全教職員 服務研修年間3回

※「学校2020レガシー」⇒各学校の特色を生かし、家庭や地域等と連携を図りながら、東京2020大会以降も長く続けていける教育活動
※「アダプテッド・スポーツ」⇒障害者や高齢者、子どもあるいは女性等が参加できるように修正された、あるいは新たに創られた運動やスポーツ、レクリエーション全般